

# 大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m<sup>3</sup>あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		10/2-9	10/9-16	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.150	0.072
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.071	0.015
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.061	不検出
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.110	0.080
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.043	0.017
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.040	不検出
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.034	0.021
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.048	0.037

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		10/2-9	10/9-16	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.024	不検出
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.021	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m<sup>3</sup>の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己京都大学名誉教授  
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

第119回目  
大気浮遊じん放射能測定結果の解説  
(2019年10月02日~2019年10月16日)

今回も大気浮遊じんのセシウム137濃度の平均値は0.04mBq/m<sup>3</sup>と極めて低い値で健康影響を心配することはありません。しかし、この一ヶ月あまり台風に伴う大雨が河川の洪水を引き起こして住民の皆様の苦労は、筆舌に尽くしがたいものと思います。皆様が早々に元の生活を取り戻されることを願っております。私は、自然のエネルギーは計り知れない強力なものです。ひとには、それを御す知恵と勇気があると信じています。